

びわ湖トラスト事務局便り

第2号



2009年10月21日発行 NPO法人びわ湖トラスト事務局
〒520-1621 滋賀県高島市今津町今津448-48

守山市沖湖底ゴミ引き上げ調査

総勢60人のボランティアさんの参加 300kgのゴミ 見えない湖底ゴミ



見えないものを上げることで、私達が気づくことは必ずある。実際、多種多様のゴミが引き上げられ、およそ300kgにおよんだ。

農業用肥料などのビニール袋が劣化して穴だらけのものに、砂・泥がつまり、湖底に沈んでいる。これを何とか砂・泥を落として引き上げると、また、その下が同じ状態。つまり、ビニール袋が土嚢になった状態で層になって湖底を作っているとダイバー、ブライアンさんの報告。「きりがない」目視が観察することが大切。底引きを予定していたが、それでは、ゴミはあがっても、状態はわからない。併せて、この地点での、7月の調査で、劣化した空き缶の泥砂から、死んだシジミの稚貝

びわ湖トラストが発見したところ、旅行作家の西本理事が取材中、耳にしたこと。時期はわからないが、沖ノ島には、四方八方からゴミが流れてくる地元の方々が、大量に引き上げた。しかし、処分について、行政からの協力が得られずゴミはしばらく積み上げていたが、悪臭に悩み、びわ湖の戻してしまい、引き上げた人は、きっと無念だったと思う。湖底ゴミについて、水産関係者などから情報はいろいろ寄せられていた。

そこで、9月26日(土)守山市なぎさビーチ沖200mで湖底ゴミの引き上げ調査を行った。



が現れていた。ほんの一部の調査で、因果関係はわからない。

びわ湖の環境としては、大変不自然なことです。わかったことは、ゴミの様子から湖底ゴミの処理は、漁業関係者などの良心に頼るものでなく、滋賀県全体の面で見え、みんなで解決したいということだ。

今回の調査にはびわ湖トラスト以外の3団体や漁師さんが協力してくれた分別の方法を今後の課題としたい。



NPO法人びわ湖トラスト1年のあゆみ

自然観察会

2008.11月自然観察会及び交流会開催



高島市今津町箱館山において、いまび自然観察クラブの松見茂先生のご案内で自然観察会及び交流会を開催しました。26名の参加で、山の自然と水が生まれるところを学習しました。交流会を兼ね、山頂のヴィラデスト今津で地元の温かいきのこ汁を味わいました。

高島のブナ林はびわ湖の水の生まれるところです。

琵琶湖湖底観察会

2008.12月浅探はっけん号復活おめでとう



びわ湖トラストあしなが基金より支援し、水中探査ロボット浅探・はっけん号による琵琶湖の調査が12月17日から5日間再開されました。12月19日の湖底観察会にはびわ湖トラストの会員や研究者らが参加し、船に乗り込みもう一台のケーブル付ロボットROVによるライブで湖底の様子を観察しました。

松ノ木内湖調査

2008.12月高島市の歴史的貴重な内湖の調査

高島市安曇川町にある松ノ木内湖は冬にはコハクチョウが集まる市内最大の内湖です。しかし、様々な要因から環境が悪化してきています。

びわ湖トラストは内湖の歴史と暮らし、また、土地改良事業との関係などを地元の方々にヒアリングしつつ「松ノ木内湖再生行動計画」としてまとめました。（高島市からの委託事業）

※地元の多くの方々にご協力いただき、ありがとうございました。



臨時総会・浅探はっけん号調査報告

2009.4月びわ湖大津館にて湖底調査の最新情報



2008年12月の5日間、琵琶湖北湖で浅探を用いた調査を行った。熊谷通夫氏の説明によると、水深85m以深に存在する湖底ネフロイド層の構造が、この調査で初めて明らかになった。湖底ネフロイド層とは、有機物をたくさん含んだ境界層のことで、この境界層中では濃度が高く、溶存酸素濃度およびpHが低いことがわかった。また、湖底ネフロイド層中に水温逆転が起こっていることも明らかになってきた。通常、密度の軽い暖かい水が、冷たい水の上に乗っているが、ネフロイド層の中で、冷たい水が、暖かい水の上にいる現象が計測されました。

松の本内湖濁水調査と自主的分析

2009.4月～5月 濁水調査



高島市安曇川町の松ノ本内湖と内湖の流入する河川の、濁水の状況を2週間撮影記録し、水質の分析を行いました。河川は、2週間連続して濁っています。緑がかった濁水です。水草が少し見えるくらいです。

風人の祭りin湖西2009 ● 正

2009.5 人と人、自然と人が繋がるお祭り



高島市地内オートキャンプ場で、恒例の「風人の祭り」が開催されました。たのしい時間と多くの出会いがありました。びわ湖トラストもブースを作ってPR活動をしました。多くの人たちとの交流をしました。湖底ゴミ引き上げのときの調査ボランティアお誘いできた出会いの場になりました。

びわ湖の湖底ゴミ引き上げ事前調査

2009.5月、7月守山漁港の戸田さん、ダイバーの中村さんとブライアン理事



5月、7月と守山漁港の戸田さんのご協力で守山沖、水深1.5m程。湖底は砂地ではないので、細かい粒子が巻き上げられやすい現場でした。



水底の葦帯あたりの状況は窺ってはいませんが底木が多いとのこと、底引きは不向きなため、ダイバーさんと漁船の連携で人力での回収を日課することとしました。ダイバーは京師の中村祐美さんと理事のブライアン氏



大津市こども環境探偵団



大津市こども環境探偵団、8月17日大晴天の中、びわ湖の探偵へ。「megumi」に乗船して、大津から柳が崎→今津沖へ

午前中は大津柳が崎で、水質・藻・湖底泥を観察しました。大津こども環境探偵団は、森や里などを「探偵」してきました。とうとう、びわ湖の湖底今津沖水深9.0mはどうなっているか、北湖と南湖、何が違うか、歴史やプランクトンの観察まで琵琶湖環境科学研究センター、石川先生の授業やびわ湖クイズなどなど、盛りだくさん。子供たちはたくさん本当の事を学習しました。未来を美しくする、大事な種、大津の子供たち。大きく育ってほしいものです。(大津市からの委託事業)

第2回びわ湖と地球の文化祭in高島



8月23日、かけがえないびわ湖を守り、次の世代へ繋ぎたい。美しいびわ湖を想う皆さんが集い楽しく交流する会を開催しました。収益金は守山市での湖底ゴミ引き上げ調査に充てました。

たかしま市民活動屋台村2009.8月



高島市民祭りと同時に開催された高島市民活動屋台村にて、「NPO法人びわ湖トラスト」の活動を紹介しました。

びわ湖あしなが基金へのご協力ありがとうございます

スペインから故郷へモリコーニ・森野直美さん

滋賀県出身でスペイン在住の画家のモリコーニ・森野 直美さんから、
びわ湖環境あしなが基金に寄付金をいただきました。



私の中にある最も懐かしくて最も美しい風景は比良連峰をたたえた隣里にも重なるびわ湖のさざ波。そして水際に揺れている葦の穂です。歳を重ねていろいろな物を見、感じるにつれて、その風景はますますリアルに私に迫り、語りかけるようになってきました。

モリコーニ・森野直美

旅費咲くブログのひこちゃん

びわ湖トラストのうれしい仲間



草津の宿場祭りであしなが基金への基金活動を手伝ってくれました。他個人でのご協力、ご寄付ありがとうございました

びわ湖トラストグッズの紹介

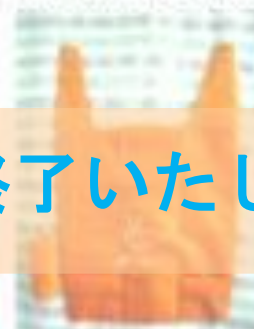
びわ湖トラストグッズを作成しました。事務局長による「タンタン」のかわいいイラストが入っています。びわ湖のするため保全活動に使われます。送料は無料です。ご購入は事務所へ連絡ください。



タンタンTシャツ
2000円



タンタンクリアファイル
200円



タンタンエコバック
400円



タンタンエコソックス
7色揃っています

グッズの販売は終了いたしました。



2009年度会費についてお願いします



平素は、NPO法人びわ湖トラストの会員の皆様のあたたかいご協力、ご支援ありがとうございます。2009年10月1日から2009年度が始まりました。発足から3年目に入ります。つきましては同封させていただいております、振込用紙にて会費の振り込みをお願いいたします。また、既に昨年度に引き続き、湖北湖底ゴミ調査の計画を進めております。ボランティアさん、ご友人など一緒に活動に参加していただける方をご紹介しますよう、重ねてお願いいたします。



2009.8月地球とびわ湖の文化祭でプライアンセレクト賞に輝いた作品の一部です。

特定非営利活動法人びわ湖トラスト
〒520-1621
滋賀県高島市今津町今津448-48
TEL/FAX 0740-22-1033
E-mail: info@biwako-trust.com
http://www.biwako-trust.com